



ガイドが解説しながら歩きます。
大人の社会科見学 市内北部の文化施設を巡る
 小平駅から小平元氣村おがわ東第二リサイクルセンター、プリヂェストン・インベーション・ギャラリーなどの施設を見学しながら、小川駅まで約4kmを歩きます。
とき 1月20日(金) 雨天決行
集合 午前9時20分 西武線小平駅南口
解散 午後1時ごろ、西武線小川駅東口。
費用 500円
定員 各15人
申込み 1月6日(金)から11日(水)までの午前9時から午後5時までに、電話または電子メールで参加希望コース、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を問合せ先へ(申込み多数の場合は抽選し、1月13日(金)までに当選者に電子メールまたは電話で通知)
問合せ こたらい観光まちづくり協会 ☎042(311)3054 info@kodaira-tourism.com

ガイドが解説しながら歩きます。
大人の社会科見学 市内北部の文化施設を巡る
 小平駅から小平元氣村おがわ東第二リサイクルセンター、プリヂェストン・インベーション・ギャラリーなどの施設を見学しながら、小川駅まで約4kmを歩きます。
とき 2月18日(土) 雨天決行
集合 午前9時20分 西武線青梅街道駅
解散 午後1時ごろ、西武線花小金井駅。
費用 500円
定員 各15人
申込み 1月6日(金)から11日(水)までの午前9時から午後5時までに、電話または電子メールで参加希望コース、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を問合せ先へ(申込み多数の場合は抽選し、1月13日(金)までに当選者に電子メールまたは電話で通知)
問合せ こたらい観光まちづくり協会 ☎042(311)3054 info@kodaira-tourism.com

アドレス、電話番号を入力の上、小平市民活動支援センターあすぴあへ(先着順) ☎042(348)2104、info@kodaira-shiminkatsudo-city.jp
市民活動交流サロン 明日に向かっセルブテア
 高齢者や障がい者の介護や育児をしている人にもっとする時間はとて大切。
 ストレス解消の呼吸法や、アロマやハーブの香りを使ったセルブテアの方法を学びながら、参加者同士でも交流します。
とき 1月29日(日) 午後1時30分～3時30分
ところ 小平元氣村おがわ東第二会議室
対象 高齢者や家族のケアをしている方(若者を含む)、セルブテアに関心のある方
定員 20人
※保育4人あります(1歳から就学前まで)。
申込み 1月4日(水)から20日(金)までに、電子メールにサロン名、住所(町名まで)、氏名、電子メール

女と男のフォーラム 男性学かららしくあれにモノ申す
 社会学博士で大妻女子大学准教授の田中俊之さんが、男性ゆえに抱える見えない生きづらさについて話します。
 若者も大人も自分らしさと向き合ってみませんか。
とき 2月12日(日) 午後2時～4時
ところ ①中央公民館ホール、②テレビ会議システム(Zoom)
定員 各60人
※①は保育7人あります(1歳から就学前まで、問合せ先へ)。
企画・運営 小平市男女共同参画推進実行委員会

昔のお正月 小平の暮らし

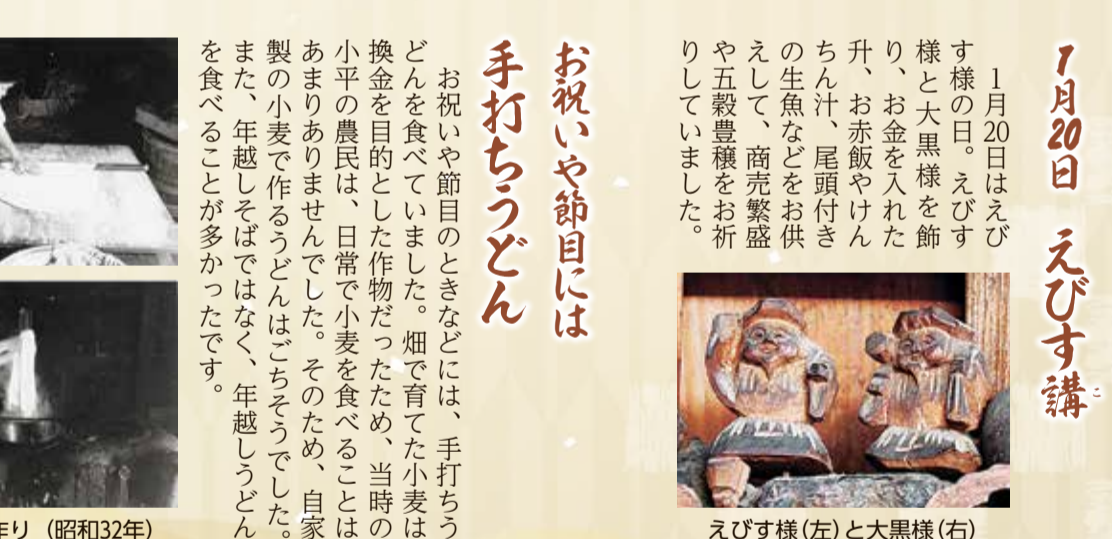


常束、大晦日、神棚に飾る幣束、みそかつぱらい、地面に挿した幣束

小平の土質は、水はけが良く、稲作には不向きな土地柄だったため、畑で麦を育てたり、養蚕を営んでいました。小平ならではの風習や正月などの年中行事、昔の小平の暮らしを紹介します。
 ※小平郷土研究会の方々からお話を伺いました。

年末 餅つき
 年末には気の合う隣同士が集まり、三椀で餅つきをしていました。三椀とは、3人でもち米を杵で潰して練って、押し合い、へし合い、時計回りに杵を振り回すことをいいます。最後に揚げづきというつて、手あいし(指揮者)に合わせて、大きい杵つき、出来上がりです。
 お供え餅、何枚もついて座敷のほかに廊下まで干して置きました。
大晦日 みそかつぱらい
 みそかつぱらいというのは、大晦日の夜に行う、新年を迎えるためのおはらいのことです。今でも行っている家があります。大晦日の夜11時30分ごろ、家長のもとに家人が集まり頭を下げます。家長は、神棚から幣束を下げてきて、神主のように右に左に振って、今年一年無事に過ごせたことに感謝し、来年も平穩に過ごせるように祈願します。この幣束は年末に氏神様の神社からおはらいの厚さで、神棚に、大根を4つ位の厚さに輪切りにした台に立てて飾っていたものです。地域によっては、大根を立てないで飾るところもあります。おはらいが終わると、家長は幣束を敷地の道路に面した神社に近いところの地面に挿して、改めて家の安泰を祈願します。元日午前0時には、氏神様の神社に初参りに行きます。夜が明け、おせちを食べるゆくりした後、今度は初詣に行き、一年が始まります。

1月7日 七草がゆ、あぼひぼ
 1月7日には、畑で取れる小松菜や大根、人参などを入れた、七草がゆを食べていました。また、小正月に行う豊作祈願として、アワとヒエの穂に見立てて竹で作ったあぼひぼを神棚にお供えしていました。アワとヒエの栽培が廃れると行われなくなりました。
1月14日 まゆ玉祭り
 1月14日は、よいまゆ玉がたくさん取れるようにと願うまゆ玉祭り。お米の粉で、まゆの形のだんごを作り、木にさして神棚に飾っていました。
 幕末の開国で、日本は欧米と貿易するようになると絹糸とお茶がよく売れました。当時、絹糸の原料となるまゆは農家にとって貴重な収入でした。このため、明治時代になると養蚕が盛んになり、明治20年ごろには、地域の7割の農家が養蚕を行っていました。蚕の餌は桑の葉のため、畑を桑畑にしている家が多くありました。桑の葉を蚕が食べる音がシャシャーンと家の中に響いているほどでした。蚕をお蚕様と呼んで、いいまゆを作れるよう、細心の注意を払って丁寧に育てていました。昭和30年に入って養蚕は衰退し始めましたが、古い農家には今でも蚕室(蚕を飼うための部屋や小屋が残っています)。
1月20日 えびす講
 1月20日はえびす様の日。えびす様と大黒様を飾り、お赤飯やけんちん汁、尾頭付きの生魚などをお供えて、商売繁盛や五穀豊穡をお祈りしていました。
お祝いや節目には 手打ちうどん
 お祝いや節目のときには、手打ちうどんを食べました。畑で育てた小麦は換金を目的とした作物だったため、当時の小平の農家は、日常で小麦を食べることはあまりありませんでした。そのため、自家製の小麦で作るうどんはごちそうでした。また、年越しそばではなく、年越しうどんを食べることが多かったです。



えびす様(左)と大黒様(右)、うどん作り(昭和32年)

F C東京×小平市 2人の選手が語る、それぞれの健康について
 小平市をホームタウンの1つとして活動する、サッカーJリーグFC東京と連携し、健康に関する動画を作成しました。背番号10番、ミッドフィルダーの東慶悟選手と、背番号31番、ミッドフィルダーの安部柊斗選手が、それぞれの健康をテーマに話します。トップアスリートのプライベートな話や意外な本音など、ここでしか聞けない情報がたっぷり詰まっています。動画は、小平市公式YouTubeチャンネルで公開しています。3月31日(金)までの限定公開です。ぜひご覧ください。
問合せ 文化スポーツ課 ☎042(346)9612

小平市公式 YouTubeチャンネル

オンライン講座 ダイバーシティ・女性活躍の推進が企業を変える
 令和4年4月から、従業員百人以上以上300人以下の事業主に、女性活躍推進計画の策定が義務付けられるなど、誰もが働きやすい職場づくりを実現するための環境整備が求められています。
対象 市内事業主・従業員、市内在住の方
定員 30人
申込み 電子メールで市民協働、男女参画推進課へ(先着順) ☎042(346)9108 kyodo-dainio@city.kodaira.jp
環境学習講座 SDGs体験会 インこだいら
◆今日からできる省エネアクション
 カードゲームを用いたワークショップで、日頃から実践できる環境に配慮した行動を学び、環境への意識を高めることで、SDGs(持続可能な開発目標)への理解を深めます。
とき 2月4日(土) 午前9時15分～11時30分
ところ ルネこだいらレセプションホール
※駐車場はありません。
対象 市内在住・在勤・在学の方
定員 30人
申込み 1月4日(水)から2月1日(水)までに住所、氏名、電話番号、年齢を問合せ先へ(電話) ☎042(346)9534

フォトニュース
村上茉愛さん 小平市観光まちづくり大使に就任
 小平第三小学校の出身で、東京2020オリンピックの体操女子種目別種目で銅メダルを獲得された、元体操選手の村上茉愛さんが、小平市観光まちづくり大使に就任しました。委嘱式では、村上さんから「辛いことがあった時や、ふとした瞬間に、ほっとする小平のことを考えます。小平にはいいところがたくさんあるので、これからSNSなどでPRしていきたい」とのコメントをいただきました。村上さんが書いた「小平のココが魅力」のボードは、市役所1階産業振興課近くの展示ケースでご覧いただけます。
問合せ 産業振興課 ☎042(346)9581

こたらい創業セミナー 創業の扉を開く 効果的なビジネスアイデア創出手法
 創業に興味はあるものの、考えが具体的になっていない方に、ゼロからビジネスアイデアを創出し、ビジネスモデルを策定する流れをお伝えします。
 セミナーはテレビ会議システム(Zoom)で行います。
とき 2月2日(木) 午後7時～9時
対象 創業を予定している、または創業したばかりの方
申込み 1月1日(日)税から、東京電子自治体共同運営サービスのホームページ(3面欄外QRコード)へ
※参加者には講座参加用のURLをメールします。
問合せ 産業振興課 ☎042(346)9534

市役所職員をかたるその電話に注意
 市役所職員をかたるその電話が多発しています。「医療費の還付金やATMの単語が出てきたら詐欺です。電話を切って警察に相談するなど、被害に遭わないように注意してください。地域安全課 ☎042(346)9614

作品を募集 ルネフォトコンテスト
 市内の季節を感じさせる風景や催し物、街で出会った心温まる情景などさまざまな視点、感性でとらえたこたいらの魅力が作品にしてお寄せください。
テーマ 小平の四季と市民の暮らし
規格 六切、四切(いずれもワイド)、A4でカラーまたは白黒でプリント
※粗写真、加工・合成は不可。画質調整レタッチは可。応募作品は未発表のもの、令和4年1月1日以降に撮影したもの(1人2点までに限ります。被写体が物の場合は必ず事前に承諾を得てください。入賞作品の使用権は主催者に帰属します。)
※賞品は、金賞(賞金3万円)、銀賞(賞品)
賞賞金2万円、などです。
※作品は3月18日(土)から24日(金)まで、ルネこだいら展示室で展示します。
※詳しくは募集要項をご覧ください。
後援 小平市写真連盟
協力 小平商工会
申込み 1月5日(木)から31日(火)まで消印有効(一、応募票または紙に作品の内容(一題名、撮影場所、撮影年月日、住所、氏名、電話番号、作品のコメント)を記入し、写真裏面に貼付して問合せ先へ持参または送付
※応募票はルネこだいら、公民館、図書館にあるほか、ホームページからダウンロードもできます。
即検索 ルネこだいら
問合せ ルネこだいら ☎1870041 美園町1-8-15 ☎042(345)5111

小平ふるさと村の催し
 昔の遊びや節分などを、小平ふるさと村で体験し、手打ちうどんを食べて、昔の小平の暮らしや雰囲気を体験してみませんか。

◆まゆ玉飾りの展示
 米の粉でまゆの形のだんごを作り、かしの木などにみかんだなどと一緒にさした、まゆ玉飾りを展示します。
とき 1月7日(土)～14日(土)

◆作ってあそべる 遊びのひろば
 紙ヒコーキを飛ばしたり、ぶんぶんごまを回すなど、その場で作って遊びましょう。
とき 1月6日(金)～15日(日) 午前10時30分～午後2時

◆小平郷土かるたとなつかしいおもちゃの展示
 昭和57年に作られた「小平市郷土かるた」と昭和20年～30年代の写真や懐かしさが残るおもちゃを展示します。
とき 1月15日(日)まで

◆ふるさと村の節分
 コダレンジャーと一緒に豆まきに参加しよう。
とき 1月29日(日) 午前11時～正午 小雨決行
申込み 当日、会場へ

◆武蔵野手打ちうどん 小平ふるさと村での営業
 小平で古くから食されている種うどんを提供します。
とき 1月14日(土)・15日(日) 午前11時15分から
※売り切れしだい終了。2月は休業します。
価格 1食500円
申込み 当日、会場へ
※団体予約(10人～15人)は、利用日の10日前までに問合せ先へ。
問合せ 武蔵野手打ちうどん保存普及会・相京 ☎042(253)7543

開園時間 午前10時～午後4時
休園日 月曜、第3火曜日(祝日の場合はその翌日)、12月27日～1月5日
問合せ 小平ふるさと村 ☎042(345)8155